

7月27日(水) 11:45~ CP黄 GK紫

プレジデントカップ Aグループ5位 vs. Bグループ5位

日本 30 (16-10 , 14-11) 21 中国

(戦評)

プレジデントカップの初戦は中国。日本は LW 吉岡, LB 並木, CB 行本, RB 金城, RW 中山, PV 澤田, GK 榎でスタート。先制点は中国に取られるが, その直後に No.6 行本がオフenseで取り返す。序盤はお互いに点の取り合いになり, 8分過ぎたあたりで日本は 4-3 とリードする。しかし 9分, 思わぬ出来事が起こる。No.14 中山の 7mT が中国の GK の顔に当たってしまい, No.14 中山はレッドカードをもらう。ここまで主力として活躍してきた No.14 中山を欠き, その後日本は攻守ともに波に乗れない時間が続く。中国にサイドシュート, カットイン, ポストシュートとノーマークシュートを決められ, なかなか離すことができない。それでも No.13 中村風, No.8 並木, No.15 金城, No.3 林が要所で決め, 相手に追いつかれてもリードを許さない。前半 20 分の時点で 8-8 の同点になるが, ここから流れが日本に傾き始める。22 分に相手のミスからの速攻を No.5 吉岡が決めると, 次々にディフェンスからの速攻を決め, 5 連取。13-8 と大きくリードする。その後日本もミスをつなげられ失点するものの, No.13 中村風, No.5 吉岡がきっちり決め, 前半を 16-10 の 6 点リードで折り返す。

後半は No.1 榎のセーブでゲームが始まる。お互いにオフenseで点の取れない時間が続き, 後半 10 分の時点で 18-12 となる。そこから先は, がっちり組み合う形になるが, 日本が強さを見せる。No.6 行本, No.13 中村風, No.15 金城らが得点を積み重ね, 中国に追撃の隙を与えない。また, No.1 榎も中国にとって大事な場面で再三にわたりセーブし, オフenseを後押しする。点差こそ大きく離れないものの, 中国を少しも寄せ付けず, 最終スコア 30-21 で勝利する。終盤には No.11 新川, No.18 中筋らを投入し, 多くのメンバーで戦うことができ, また No.12 金山も 7mT をセーブするなど, 収穫のある試合だった。

次戦は 17-18 位決定戦にアルゼンチンを迎える。この大会最後の試合をどう未来につなげていけるかが鍵になるだろう。

なお, この試合の優秀選手として, No.1 榎が選ばれた。

(個人得点)

7点 吉岡, 6点 中村風, 5点 行本, 4点 金城, 3点 並木, 2点 林, 1点 澤田・浜・中筋